

商店街名：平針駅前商店街振興組合（名古屋市）

キャッチコピー

地域の自然や歴史・文化を大切に、地域に根差した明るく楽しい笑顔あふれる街！

◎商店街の将来ビジョン（目指す未来の商店街の姿）

◇地域の状況（2030年度頃）

平針北・平針・平針南・原の4学区の人口は38,836人、19,547世帯。
年齢構成は、14歳以下が12.4%、15～64歳が64.4%、65歳以上が23.3%で平針運転免許試験場のある町として県下では有名。農業センター、秋葉山慈眼寺、針名神社、姫街道など歴史や自然が残る名古屋のベッタウン。



◇商店街の姿

飲食店、食品スーパー、医療機関、薬局、理美容院、進学塾、金融機関などが駅前にバランスよく集積。
シニア層やファミリー層が日常の用事を駅周辺だけで済ませられる「コンパクトさの強み」を活かしたイベント、シニアとファミリー層がともに交流できる街づくりを目指したい。

◇地域の状況（2035年度頃以降）

年々人口は微減しつつも、名古屋市内でも比較的若い世代が多い人口構成であり、落ち着いた住宅地の環境と、充実した教育・医療インフラが魅力的な街として依然名古屋のベッタウンとして健在感を示す。自然豊かで昭和のレトロな雰囲気と、生活拠点としての利便性がコンパクトに融合した街並みで、名古屋の東の玄関口としての役割を担う街。



◇商店街の姿

歩きやすく自然を感じる工夫「四季の花があちこちで咲き、歩いて気持ちいい街」にしたい。
街路灯、防犯カメラ、AEDなどの整備、継続管理し、治安が良く落ち着いた住宅街の玄関口となる商店街として、シニアとファミリーが触れ合う地域に密着した街づくりを目指したい。特に、駅前バスターミナル周辺の総合的な再開発を期待したい。

◎未来の商店街の姿に至る方法（プロセス） 【構想計画期間：2026年度～2030年度】

- 自治会等の協力により、定期的に地域住民に対して商店街へのニーズについてアンケートを実施。
- アンケート結果を基に、ターゲット層が求める役割を果たす事業を検討・実施していきたい。

◎実行体制

(1) 未来プロジェクトチーム

構成：地域の多様な主体の関係者を含む計7名

(2) 地域プラットフォーム

名称：平針駅前商店街の未来を考える会

目的：平針駅前商店街の将来の姿を描くため、地域の関係者の商店街に対するニーズを汲み上げ、実現に向けて意見を伺うこと。

参画：商店主、地域住民

◎想定・把握している「商店街に対する地域ニーズ」

これまでの商店街と地域との意見交換において、シニアにやさしい商店街や、特徴ある専門店やおいしい飲食店を求める声が多く、量販店にはない人と人が触れ合う心のこもったサービスを商店街に求めるニーズがある。

◎将来ビジョンの具現化や地域ニーズの対応のために行う地域貢献活動の内容

- どまつりイベントで培った4学区共同で主催し、地域の女性会、民生児童委員、消防団、子ども会、おやじの会などとの連携するプラットフォームをより強化する。
- また、にっぽんど真ん中祭り「バリバリ平針パレード会場」やハロウィンイベントなどをとおして、商店街の魅力向上と地域コミュニティの活性化につなげていきたい。なお、ハロウィンイベントにおいては商店街と大学生と一緒に仮装して高齢者施設を訪問し交流を深め、商店街を知ってもらう機会を増やしてまいりたい。